

# 県議選区割り見直し署名

# 232,069人分を県議会議長へ提出



9月16日、大橋会長をはじめとする考える会の参加団体代表者が、「県議選区割り見直しを求める署名」を、中村県議会議長へ提出しました。

去る7月16日に開催された「群馬県議会議員選挙のあり方を考える会・設立総会」以降、考える会の参加団体は2007年に実施される県議選が「合併後の新市の一体感を醸成するためにも区割り見直しが必要である」として請願署名に精力的に取り組んできました。連合群馬は、産別・地協・議員懇談会会員に署名の協力を求めるとともに、街頭でのチラシ配布や署名活動を行いました。また、議員に協力を呼びかけ、街宣活動を展開しました。8月20付けの上毛新聞へ意見広告も掲載しましたので、お気づきになった方も多と思います。

取り組みの結果、全体で232,069人分もの署名が集まりました。多くのおみなさんにご協力をいただき感謝申し上げます。



この取り組みをはじめた頃は、前橋・玉村・鬼石などの議会で、すでに区割り見直しを求める意見書が採択されていましたが、7月22日には県市議会議長会の総会で2007年の県議選は合併後の

行政区で行うように県議会へ要望することが合意され、9月8日には高崎市議会でも早期見直しを求める意見書が賛成多数で可決されました。県内で「県議選区割り見直し」の関心が高まるなか、9月26日から始まる9月議会の行方が注目されます。



地域の取り組みを一部ご紹介します

